

## 精神保健福祉論Ⅲ

担当教員 茶屋道 拓哉

配当年次 4年

開講時期 第2学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

- 1 精神障害者の生活支援の意義と特徴について説明できるようになる。
- 2 精神障害者の居住支援に関する制度・施策と相談援助活動について基礎的知識を備える。
- 3 職業リハビリテーションの概念および精神障害者の就労支援に関する制度・施策と相談援助活動について基礎的知識を備える。
- 4 行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動について説明できるようになる。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	精神障害者の概念①障害の概念・ICFによる障害の概念
2	精神障害者の概念②障害者基本法・精神保健福祉法における定義、精神障害者の特性
3	精神障害者の生活の実際①精神障害者と家族の現状
4	精神障害者の生活の実際②精神障害者と地域社会
5	精神障害者の生活の実際③海外における生活支援モデルの動向
6	精神障害者の生活と人権①精神障害者の生活支援の理念と概念
7	精神障害者の生活と人権②地域生活における精神障害者の人権
8	精神障害者の地域生活支援システム①社会参加のための地域生活支援システム、相談援助
9	精神障害者の地域生活支援システム②雇用・就業以外の就労、余暇活動
10	精神障害者の地域生活支援システム③ソーシャルサポートネットワーク、クライシスケアシステム
11	精神障害者の居住支援①居住支援制度の歴史的展開と現在の動き
12	精神障害者の居住支援②居住支援における精神保健福祉士や専門職の役割
13	精神障害者の雇用・就業支援①雇用・就業制度の概要、歴史的展開
14	精神障害者の雇用・就業支援②雇用・就業・福祉的就労と専門職
15	行政における相談援助

## 【履修上の注意事項】

- 1 期末試験の受験と合格（60点以上 学則参照）
- 2 この講義における「再試」は実施しない
- 3 本科目は精神保健福祉士国家試験における指定科目（精神障害者の生活支援システム）である
- 4 授業前に当該担当部分についてのテキストを一読しておくこと
- 5 授業後に配布された資料とテキストなどを照らし合わせながら授業の振り返り（復習）を行うこと

## 【評価方法】

- 1 授業中のレスポンスとミニレポート（30%）
- 2 期末試験成績（70%）

## 【テキスト】

日本精神保健福祉士養成校協会編, 新・精神保健福祉士養成講座⑦『精神障害者の生活支援システム（第2版）』2014年, 中央法規

## 【参考文献】

『精神保健福祉白書 2015年版』精神保健福祉白書編集委員会編, 中央法規